

2009年度(2009.7.1～2010.6.30)活動計画

(1) 総会(年次事務会議)及び講演会の開催

年度末に総会を開催し、年次支部活動報告および会計報告を行う。併せて、注目すべきテーマを選定し、講演会を開催する。

(2) 講演会の開催

関連学会との協力により、外国人研究者を招聘し話題性の高いワークショップを開催する。

(3) CACM日本語版の電子出版

ACMの学会誌である「THE COMMUNICATIONS OF ACM」(CACM)の特集記事を翻訳し、年2回電子出版する。質の高い翻訳のために、翻訳者および監修者にはその分野の専門の研究者に依頼する。編集委員会を設置して実施する。

日本語版は支部WEBに掲載し、支部賛助会員に公開する。ACM個人会員は、ACMデジタルライブラリを利用したの閲覧とする。

(4) ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト(ACM/ICPC)の補助

・世界大会で行われるリージョナルコンテストディレクターズ会議に日本側代表としてICPC委員と次回大会ディレクターを派遣する。

・国内予選選抜上位チーム及び世界大会出場チームを対象に、プログラミングコンテストOB/OG会による特別強化セミナーを開催する。

(5) 支部幹事選挙

2010年5月に支部幹事選挙を行う。

2009年度収支予算書

2009年7月1日～2010年6月30日

単位:円

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
収入の部				
1. 賛助会費収入	1,800,000	1,800,000	0	賛助会員企業より
収入合計(A)	1,800,000	1,800,000	0	
前期繰越収支差額	3,229,202	3,428,470	1,619,268	
収入合計(B)	5,029,202	5,228,470	1,619,268	
支出の部				
1. 年次総会・講演会開催	390,000	260,000	130,000	
(1)会議費	300,000	200,000	100,000	会議室賃借料等
(2)旅費交通費	30,000	20,000	10,000	
(3)講演料	50,000	30,000	20,000	日本人講演者
(4)雑費	10,000	10,000	0	
2. 講演会の開催	250,000	400,000	150,000	
(1)招聘費	200,000	350,000	150,000	外国人研究者の招聘
(2)会議費	50,000	50,000	0	
3. 学会誌翻訳出版	360,000	660,000	300,000	CACM 日本語版電子出版
(1)翻訳料	350,000	650,000	300,000	翻訳監修謝金
(2)雑費	10,000	10,000	0	
4. プログラミングコンテスト補助	845,000	1,600,000	755,000	
(1)委員派遣費	400,000	400,000	0	RCD会議に派遣
(2)チーム旅費補助費	0	800,000	800,000	
(3)特別セミナー開催費	350,000	380,000	30,000	選手強化合宿費用
(4)資料収集費	75,000	0	75,000	ICPC 関係書籍の購入
(5)雑費	20,000	20,000	0	
5. 支部幹事選挙	200,000	0	200,000	
(1)通信運搬費	200,000	0	200,000	往復はがき 2,000 枚
6. 管理費	300,000	300,000	0	
(1)旅費交通費	50,000	50,000	0	委員旅費他
(2)通信運搬費	150,000	150,000	0	Web維持料、通信費
(3)会議費	70,000	70,000	0	会議室賃借料等
(4)雑費	30,000	30,000	0	
支出合計(C)	2,345,000	3,220,000	875,000	
当期収支差額(A)-(C)	545,000	1,420,000	875,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,684,202	2,008,470	744,268	